

社会資本総合整備計画評価委員会 意見とりまとめ

【事業効果の発現状況について】

番号	意 見	対 応
1	復興まちづくり訓練が令和 6 年度に広見商店街周辺地区で実施され、訓練実施率は最終目標値を達成している。	
2	復興まちづくり訓練の成果が、わかりやすくまとめられ、広く周知されていることから理解力が高まり意識づけが図られた。	
3	訓練後のアンケートより、参加者の意識が漠然としていた状態から、より明確になり向上していると評価できる。	
4	事前復興計画の策定には、市民懇話会の委員として「富士市まちづくり協議会連合会」と「富士市町内会連合会」の両会長が参加しており、迅速で着実な復興には欠かせない両者の意見が取り入れられたものとなっている。	
5	同じ地区に住む、立場や環境が異なる住民同士で集中的な議論がされており、持続可能なまちづくりを検討する一助になっているものと考えられる。	
6	年度毎に実施地区や訓練テーマを変更しつつ計画的に訓練を実施しており、実施地区数の増加に伴い、市民や事業者の中で復興まちづくりに対する理解が着実に浸透している点については、事業効果の発現状況として高く評価できる。	

【今後の方針について】

番号	意 見	対 応
1	復興まちづくり訓練を継続して展開し、市民だけでなく、事業者・行政も含め、事前復興まちづくりに対する更なる意識の向上及び周知を図られたい。	ご意見を踏まえ、 今後推進する。
2	庁内関係部署に対し、富士市事前都市復興計画の理解促進を図り、訓練等を通じ富士市における復興に対する体制整備に努められたい。	ご意見を踏まえ、 今後推進する。
3	引き続き各地区での復興まちづくり訓練の実施を図られたい。その際には、まちづくり協議会と町内会・区の役員の参加を促すよう努められたい。	ご意見を踏まえ、 今後推進する。
4	地区が持つ脆弱性は、地理的や構造的な面以外にも、高齢化・人口減少が著しく進んでいるといった面も考えられるので、参加者の検討も含め、多様な視点で訓練を計画・実施してほしい。	ご意見を踏まえ、 今後推進する。

【学識経験者の意見】

今回の富士市の事前復興まちづくりの取り組みでは、広見商店街周辺地区における訓練が実施されました。復興訓練実施率は、実施地区を計画の指標として量的に算出されており、令和 6 年度の最終実績値は、最終目標値を達成しています。

上記に加えて、訓練後のアンケート回答内容も把握され、量的・質的指標を用いた検証がなされている点においても、高く評価できます。特に、アンケート結果では、参加者の中に被災後の対応イメージが形成されたことや、日常の商店街における組織づくりの重要性への気づきにつながったこと、防災において事前準備が不可欠であると認識したこと等を確認できます。計画に基づく訓練実施により、発災後に備えるとともに、復興まちづくりの理解深化につながっており、事業効果として捉えることができます。

常葉大学 社会環境学部 河本尋子 教授